

① **会内活動** ～コロナ禍の中、色々な活動を行っています！～

◆「**多職種連携研修会**」:9月8日(水)開催(対面+Zoomのハイブリッド)・講師:八幡暁直副会長
板東博志会長の挨拶の後、「新型コロナウイルス感染症の基礎知識・訪問時の留意点～コロナ禍に真に気をつけるべきは?～」をテーマに、八幡先生から講演がありました。内容としては、新型コロナウイルスに関する正しい知識、最新の国の動きなどが縷々説明されました。その中で、特に、同先生から、対策として、①ワクチンをうっても、更に十分な予防対策が必要、②対策のアピール(動きの可視化)、③家族への十分な説明と親和性の維持、④行政からの指示は全て録音、記録しておくなど、周到的な行動をしておくべきなどが挙げられました。

◆「**在宅患者バックアップシステム(このはネット)研修会**」:9月17日(金)開催(Zoom)
「このはネットの活動と今後の展望 ～ICTを活用した退院時からの看取りまでのシームレスな情報共有～」をテーマに、開催されました。

◆**第3回「在宅医療連携を推進する会**」:9月22日(水)開催(於・此花区役所)
在宅医療・介護連携推進事業や認知症初期集中支援事業等の進捗状況の報告、各団体等からの連絡や活動報告等がありました。

◆**救急医療情報交換会**:9月2日(木)開催(於・大阪暁明館病院会議室) < >内は此花区の状況
此花消防署(救急隊)から、令和2年の救急活動状況の報告がありました。大阪市内の救急出動件数は217,430件<5,145件>、搬送人員は176,633人<4,418人>で、前年に比して11.3%の減になっています。うち高齢者は98,465人(55.7%)でした。

◆「**此花区在宅医療・介護連携相談支援室相談**」(相談無料):随時(主に電話相談)
医療機関や訪問看護ステーションの紹介等を行いました。現在、2名の在宅医療推進コーディネーター(看護師)が出務しています。また、「終活」としての成年後見制度(法定後見・任意後見)、相続、遺言書(自筆証書・公正証書)、生前整理等の相談も受け付けています。

◇**大阪府医師会「新型コロナウイルス感染症にかかる在宅療養者への対応ガイド**」:先般、同ガイド(A4判10頁)が発出されました。ガイドには、基本的な考え方、症状分類、患者対応時や訪問時のポイント、感染防止策などが書かれています。

② **ご案内** ～色々ご利用下さい！～

■厚生労働省よりそいホットライン(生活困窮・生活上の悩み):0120-279-338(24時間)

■こころの健康相談統一ダイヤル:0570-064-556 [まもろうよこころ](#)で検索すれば、取組み紹介など

■国民生活センター消費者ホットライン:0120-213-188か188(全国共通)

■大阪府新型コロナウイルスに関する相談窓口:06-6944-8197(毎日9:00~18:00)

■大阪府ひきこもり地域支援センター:06-6697-2890(平日10:00~16:00、土日祝・年末年始除く)

■大阪府労働相談センター(電話・面談・オンライン、無料、匿名可、秘密厳守):06-6946-2600(英語・中国語OK)、セクハラ・女性相談専用:06-6946-2601、テレワークサポートデスク:06-6946-2608。但し、平日9:00~12:15・13:00~18:00、木曜日は20:00迄。

■警察相談室(生活の安全に関する不安・悩み):#9110(有料)

■子どもの人権110番:0120-007-110(平日8:30~17:15)

☆ **「本人情報シート」(任意提出)の活用状況**:最高裁判所は先般、成年後見制度(法定後見・任意後見)を申立てる際に出される「本人情報シート」(ケアマネジャー作成)の提出率を公表しました。2年前の書式制定当初は約53%でしたが、今年6月現在では約85%になっています。なお、医師が作成する「診断書」は必ず提出する必要があります。

☆ **介護人材の推計**:厚生労働省は、第8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、将来的に必要となる介護職員数の推計値を発表しました。全国で、令和7(2025)年までに、あと32万人が必要としました。大阪府の不足率は11.7%で、約2.5万人強が不足するとみられています。若者等に対する介護職の魅力発信、経済連携協定(EPA)等に基づく外国人人材の受入れ環境の整備などの対策が急がれます。

☆ **中学校夜間学級(夜間中学)**:学齢期に様々な理由によって義務教育を修了できなかった人に対して、中学校教育を行うことを目的に開設されています。大阪府内では、大阪市(天満、天王寺、東生野、文の里の4校)、豊中市、守口市、東大阪市、八尾市、堺市、岸和田市に11校あり、生徒の半数が60歳以上で、外国籍の方は約7割となっています。近年では、教育機会確保法により、形式的に中学校を卒業した人の入学も認められ、「学び直し」の場として、或いは、外国人の方の日本語教育の場としての役割が期待されています。

☆ **△△月間・〇〇週間**:9月は高齢者福祉月間(9月20日敬老の日)、世界アルツハイマー月間(9月21日世界アルツハイマーデー)、高齢者防火推進週間、救急医療週間(9月9日救急の日)、自殺予防週間、防災週間(9月1日防災の日)、動物愛護週間等がありました。

☆ **大阪府ホテル抗体カクテルセンター**:抗体カクテル療法による早期治療を行うことで、重症化を予防し、中等度病床の逼迫を軽減する目的で設置されました。1ヶ所目が8月26日から、2ヶ所目が9月14日から運用開始されました。患者受入は一日20人の予定です。

□ (資格学校の) **TACウェビナー**:①「空き家対策」、②「年金対策」、③「後期高齢者医療制度」の各セミナーがあり、色々なデータの提示がありました。①では、現在全国に空き家は約850万戸もあり、その対応策が急務とされました。争族にならないためにも、「不動産相続については、家族間できよく話し合うこと」が強調されました。②では、公的年金のしくみなどの説明がありました。現在の1ヶ月の平均支給額は、国民年金は56,049円、厚生年金は146,162円とのことでした。③では、医療費の現状(総額43.6兆円、うち後期高齢者医療16兆円)、認知症になる割合(75～79歳10.9%、80～84歳24.4%、85歳以上55.5%)、認知症予防対策、医療費負担の見通し等が説明されました。「継続力と忍耐力が必要だが、介護予防、認知症予防に向けてすぐ行動すること」が重要とされました。

PR 此花区在宅医療・介護連携相談支援室ホームページ:本会ホームページからお入り下さい。研修情報、活動報告、地域資源、連携シート、「医介連携の窓」のパートに別れています。

PR 此花区医師会訪問看護ステーション:四貫島2-18-13・電話 6460-3356/FAX 6460-3358 ケアプランセンター併設の医師会立ステーションで、看護師、作業療法士、主任ケアマネジャー(看護師資格)が在籍しており、円滑、かつスムーズな医療介護連携は得意とするところです。受付時間は9:00～17:00(土日祝・年末年始除く)です。

PR このはなオレンジチーム:春日出中1-27-13YMS此花ビル1階・電話 6462-1087 オレンジチームは、認知症の早期発見・対応のために設けられた、認知症相談の窓口(月～土、9:00～17:00)です。相談無料、秘密厳守、匿名可となっています。ご利用下さい。

